



1998年川崎医科大学卒業。大阪市立大学(現・大阪公立大学)医学部附属病院整形外科へ入職し、近畿圏内の関連病院で研修を修む。2009年に西宮清見病院西宮人工関節センターへ入職、副センター長を務める。副や副院長の人工関節置換術などで執刀した経験から整形外科疾患の予防や早期治療の重要性を痛感。2017年に開業。

人工関節置換術が必要になれば、西宮清見病院での手術に院長が必ず立ち会うとともに、術後の経過も詳しく把握。退院後のリハビリへとスムーズに移行できるよう、院長が患者をしっかり支える。また「肩凝りや腰痛など筋肉の

過緊張からの痛みにも悩む患者さんが増えています」と院長。原因疾患の治療や姿勢の改善を図るとともに、リハビリや筋力リソースでの痛みの軽減や筋肉の質の向上をめざす。4人の理学療法士は担当制で、患者の病歴やその日の症状に

合わせてマツサージや運動療法を。実践。高い技術と人の温もりのある施術で、患者の満足度を高めるべく尽力する。一方で頑固な痛みが続く場合には、エコーガイド下での筋力リソース注射を検討。エコー画像で注射針の位置を確認しながら行うことで安全に配慮する。個人差はあるものの効果を見込むことができ、多くの患者が受診している。

強みであるリハビリを、将来的には介護領域で生かせばと院長「整形外科ならではのアプローチで、これからも地域の健康に貢献していきます」と意気込む。



患者に笑顔で接してほしいという思い、診療を行う院長

早期発見 早期治療 に向けて

無症状のまま進行し、骨折から初めて見つかることも多いという骨粗しょう症。特に女性はホルモンバランスが変化する40代～60代半ばで急速に骨密度が低下するという。そこで同院の関節科には、骨粗しょう症検査について確認する項目を設けており、その時点では検査を希望しない患者にも、信頼関係を築きつつ検査を勧めていくそう。骨密度では手や踵のみで測定する簡易検査もあるが、同院ではDEXA法を用いた装置を導入しており全身の骨密度を短時間で計測。適切に診断する。「骨粗しょう症を早期発見できる貴重な機会です。受診された方には、ぜひ検査を受けてほしいです」



骨密度の精密な測定ができる機器もそろえる



Tel: 0788-69-3330
 Add: 西宮市西福引15-16
 野村ビルJR西宮駅前2F
 Parking: 無し
 Close: 日/祝

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 祝 |
|-------------|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9:00～12:00 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 16:00～19:00 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |

※臨時休診あり



医療法人社団 まさだ整形外科 整形外科/リハビリテーション科

政田 俊明 院長

Masada Toshiaki



清潔感のある落ち着いた雰囲気の待合室 診察室内は、スタッフが明るく丁寧に対応する 幅広い年代に対応できるリハビリ機器がそろう

患者の笑顔と健康寿命をめざして 生活に密着した整形外科診療を実践

令和4年の春に開業5周年を迎えた「まさだ整形外科」。JR神戸線西宮駅の北口からすぐの便利な立地で、政田俊明院長が患者の症状にじっくりと向き合うとともに、予防・早期発見をも見据えた診療やホスピタリティーの充実に取り組み、気軽に頼れる整形外科

として地域での存在感を高めてきた。整形外科疾患では診察やリハビリのために定期的に通院する患者も多いことから、同院では心地よく過ごせる環境づくりを重視。スタッフのあいさつや声かけをはじめ、待ち時間に配慮した検査や診

理学療法士によるリハビリやエコーガイド下筋力リソースで筋肉にもアプローチ。高齢者の健康寿命を伸ばす「寝たきり」は、転倒や骨粗しょう症による骨折から始まる場合も多い。そこで「骨のかかりつけ医」を提唱する同院では、骨粗しょう症や関節痛の診療に注力。エックス線検査や提携する西宮清見病院でのMRI検査などから診断をつけ、適切な治療へとつなげている。

診のタイミング、土曜内検など細部にまで配慮を怠らぬ。特に理学療法士や受付などのスタッフは「人柄の光る人ばかりで、診療の質を高めてくれています」と政田院長も信頼を寄せ、そのためか新型コロナウイルス感染症の流行期でも通い続ける患者が多く、同院では徹底した感染対策を実施し、医療レベルを維持しながら診療を続けてきた。

院長自身も、開業院ならではの患者との距離が近い診療に、やりがいを感じているという。「患者さんのお話を丁寧に伺い、回復を肌で感じながら治療を工夫し、長くなりましたと話す笑顔を」と院長。開業時の一地域で予防医学や早期治療に取り組みたい」という思いは今も原動力だ。

院長自身も、開業院ならではの患者との距離が近い診療に、やりがいを感じているという。「患者さんのお話を丁寧に伺い、回復を肌で感じながら治療を工夫し、長くなりましたと話す笑顔を」と院長。開業時の一地域で予防医学や早期治療に取り組みたい」という思いは今も原動力だ。

院長自身も、開業院ならではの患者との距離が近い診療に、やりがいを感じているという。「患者さんのお話を丁寧に伺い、回復を肌で感じながら治療を工夫し、長くなりましたと話す笑顔を」と院長。開業時の一地域で予防医学や早期治療に取り組みたい」という思いは今も原動力だ。



快適な空間づくりにも力を入れる同院。受付や待合室は高級感あるしつらえで統一されています。また院内のあちこちには手入れの行き届いた観葉植物や、季節を感じさせるさりげない装飾が、院

長のご家族の方がお世話や飾りつけを担当されているそうです。緊張しがちな待ち時間やリハビリ中でも、生き生きとした緑が視界に入ると和やかな気持ちになれそうだと感じました。